

2025 年度「吉川允二記念核融合エネルギー奨励賞」募集のご案内

本賞は、ITER 計画や幅広いアプローチ（BA）活動などに代表される核融合エネルギーの研究・技術開発に寄与しうる、内外の若手研究者・技術者（大学院生を含む）の優れた活動を顕彰するため、2007 年に核融合エネルギーフォーラムにより「核融合エネルギー奨励賞」として創設されました。2009 年度には「吉川允二核融合エネルギー奨励賞（Masaji Yoshikawa Prize for Fusion Energy）」に改称、さらに、2017 年 12 月の吉川允二氏のご逝去されたことを受け、2018 年度より「吉川允二記念核融合エネルギー奨励賞（Masaji Yoshikawa Memorial Prize for Fusion Energy）」として継承されてまいりました。2025 年 3 月、核融合エネルギーフォーラムの終了に伴い、本賞はプラズマ・核融合学会および日本原子力学会核融合工学部会の合同賞として新たに引き継がれ、引き続き授賞されることとなりました。また、核融合エネルギー連合講演会開催に合わせた隔年授賞となります。

歴史ある本賞に、より多くの皆様からのご応募を心よりお願い申し上げます。

（１）目的

ITER や BA など代表される核融合エネルギーの実現に寄与する国内外の研究・技術開発活動、調査活動、社会連携・貢献活動等の中で、若手人材による優れた成果を顕彰し、今後の一層の活躍を期待して奨励することを主な目的とします。

（２）授賞対象

奨励賞 若干件

下記の何れかの活動であって、原則個人の、学生を含む国内外の若手の研究者・技術者・教育者・サイエンスコミュニケーター等が行った優れた成果を対象とします。特に顕著であると認められた場合には「優秀賞」を授与いたします。

- ① ITER や BA に直接関わる研究・技術開発活動など
- ② 上記以外で核融合エネルギーの実現に必要な研究・技術開発活動、または将来これらの研究・技術開発に寄与する基礎的・基盤的な研究・技術開発活動など
- ③ 長期的な視野に立って核融合エネルギーの実用化や核融合を応用したエネルギー環境問題の解決に向けたシナリオ作成に寄与する調査研究活動など。
- ④ 核融合エネルギーに関する社会との連携・貢献、教育、広報、啓発活動など。

過去の受賞に関する情報は下記 URL にて得られます：

<https://www.qst.go.jp/site/fusion-energy-forum/past-prizewinner.html>

（３）授与内容

・正賞（賞状）

顕彰対象 1 件につき正賞（賞状）を授与します。

（４）応募資格

学生を含む若手の研究者・技術者・教育者・サイエンスコミュニケーター・アウトリーチ活動等に貢献した方で、2025 年 4 月 1 日現在 40 歳未満の方が応募することができます。

（５）選考方法

プラズマ・核融合学会および日本原子力学会核融合炉工学部会から選出された同賞合同選考委員会で審査いたします。

(6) 応募方法

①本人による直接応募

②提出書類

申請書（別紙1）

- ・略歴、活動の目的、背景と位置づけ、実績と成果、意義と貢献、活動計画の概要など。理解を助けるための図表の挿入も推奨します。グループ活動の一環として行った研究・活動は、その中で自分の役割、独自の創意や特筆すべき貢献を記して下さい。
- ・研究・活動等業績リスト及び主要な業績の要旨など

主要論文、業績を示す資料等の写し

- ・別紙1に記載されたもの。

③提出方法

申請書および主要論文をPDF化して、電子メール添付で、下記合同選考委員会に送付して下さい。
電子メールの件名は「吉川允二記念核融合エネルギー奨励賞申請書」として下さい。

④応募の締切

2025年12月25日（木）

(7) その他

○授賞式

決定後速やかに文書で授賞通知書をお送りします。受賞日は通知書に記載した日とします。なお、授賞式は2026年度内に開催する第16回核融合エネルギー連合講演会で行う予定です。

○FAQ

別紙2に主な質問と回答例をまとめました。応募の参考にして下さい。

問合せ・連絡先

吉川允二記念核融合エネルギー奨励賞合同選考委員会

電子メール：yoshikawa-prize-committee@qst.go.jp